

閼伽井堂

閼伽井堂は、本殿の前にある木造建築で、ここには井戸と小さな水天宮があります。江戸時代（1603～1867 年）末期に建てられており、建築は貴惣門と同じ頃であったと思われます。僧侶たちは寺院の毎日の清掃の一環として、この井戸から水を汲んでお供え物としていました。井戸はもう使われていませんが、水汲みに使われていた桶や縄や滑車輪は今でも見ることができます。

井戸の先には、水の神で仏教における 12 天のうちの 1 人、水天様が祭られています。水天は、ヒンドゥー教の神ヴァルナ（海の神）の仏教版です。閼伽井堂の軒には、波の中の竜や亀を描いた細かい彫刻が施されています。閼伽井堂は登録有形文化財です。